

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原 一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田 茂夫 TEL072-850-5781
<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

平成19年2月 ²⁰⁰⁷~~(2006)~~年 No.494

平成18年度 年度賞発表 年度大賞は進藤氏が初受賞 ドキュメンタリー作品「雪の日も雨の日も」

平成18年度の年度賞は、12月に行われた幹事会によって年度大賞には進藤氏の「雪の日も雨の日も」が選ばれました。これは豊岡のこうのとりを精力的に取材され、人工飼育で繁殖、自然に放すという困難さを記録されたものです。時代に合った題材と貴重な映像、何回も通われて撮影されたご努力に対し審査員（日本アマチュア映像作家連盟会員で世話役をやっておられる幹事）満場一致で年度大賞に推薦されたものです。

その他、年度賞には数本のノミネートされましたが、以下の3本が年度賞として選ばれました。

年度大賞	「雪の日も雨の日も」(HDV)	進藤信男さん
年度賞	「アンコールワット遺跡群」	山本正夢さん
年度賞	「黒石寺 蘇民祭」(W)	河合源七郎さん
年度賞	「冬・余部」(HDV)	江村一郎さん

受賞者は1月例会後の総会の席上にて、合原会長より表彰楯ならびに記念品が手渡され拍手で祝福されました。おめでとうございます。また今年も頑張って良い作品を作ってください。

■新年度から進藤氏が新世話役に就任

森口氏が自治会役員を引受けたので欠席する月が増える恐れがあると、世話役を降りられましたので、替わりに進藤氏が新しい世話役に就任されました。よろしくお願いいたします。

2例会のお知らせ

2月例会は第4土曜日24日 18時より大阪市立難波市民学習センターにて、開催します。月1回の楽しい例会と二次会、皆様のご来場をお待ちしています。作品の方もどうぞよろしく。

総会報告

1月21日第3土曜13時から行われた例会のあと16時より総会を行いました。

18年度活動報告及び役員選出、役割分担、会計報告、会計監査報告と年度賞発表及び表彰、例会最多出席と最多出品表彰等があり無事総会を終えました。そのあと、5階会場に席を移して新年会を開催しました。今年の新年会には過去最多の32名の多きを数え、懇親のひとつときを楽しみました。例年、少なくとも新年会にはお越しの田中正文氏や勝成忠氏、那須典彦氏らのお姿が見えないので淋しい思いをしましたがどうかお元気で過ごしのほど祈っています。暖かくなって体調もよくお時間が許されるならば例会にいらして下さい。

■18年度例会最多出席者表彰

全例会出席者：江村、奥、紙本、進藤、関、黒田、合原、前田、増池、森、華岡、安居の12氏。

11回出席者：有村、吉岡、河合の3氏。

■最多出品者表彰

全例会出品者：江村、増池、奥、前田の4氏。

11本出品者：有村氏。

以上例会を盛り上げて頂いた方々に感謝し、記念品としてミニDVテープを贈呈いたしました。

元OMC会長の長女の方からメール

前田さん方へ「川畑健二の娘です」と恵美子さんという方からメールがありました。その文面を要約してご紹介します。

インターネットで父の名前を打ち込んだらOMCが出てきて今なお、大活躍のクラブであると知り、思わず感動感激してメールさせて頂きました。父がいなくなっても随分月日もたち、あの時3歳だった私の娘も先日嫁いでゆきました。父が生きていたら喜んで孫の結婚を題材に何かしら取っていたかと思います。

母も父が亡くなってもう80歳を越えましたが元気ですごしております。

八尾に引越しましたので外出も不便でこちらの会合にもご無沙汰しておりますが、

本当に感激で胸がいっぱいになりました。

時代も変わり、8ミリがビデオやDVDの時代へと変化しましたが皆様もお元気でなお一層素晴らしい作品づくりにがんばってください。長女 恵美子（八尾市在住）
注）川畑健二氏は1987年（S62）12月24日亡くなられた元会長で68歳でした。今のOMCの現状を見られたらびっくりされることでしょう。名会長で懐かしい人です。合原現会長よりお礼状を出しておきました。

1月例会のレポート

新年例会は第3日曜日の13時より開催。32名の多くの出席と17本の作品のうちHDVが13本という今年に行く末を暗示する例会となりました。司会、合原さん、書記、有村さん、デッキ係に増池さん、江村さん、河合さん、受付兼証明係を渡辺さん、奥さんの担当で進行しました。

◆出席者：有村、石垣、井上、岩井、江藤、江村、岡本、奥、紙本、河合、黒田、合原、進藤、関、玉井、鉄具、西井、錦、西村、華岡、藤原、前田、増池、松本、森、森下、森田、安居、山本、吉岡、渡辺（敬称略）
31人と見学者1人の皆さんと作品本数17本でした。

◆上映作品（今月の記録と講評担当：有村博）

1) 八幡堀の春

玉井 勻さん 7分58秒

滋賀県近江八幡市の日牟礼八幡宮と四月中旬に行なわれる八幡まつりの宵宮の松明まつりに使われる松明が紹介されて、桜が満開の堀の情景にと続きます。やがて参道の橋に行く太鼓まつりの勇壮な大太鼓から夜の松明の点火となり見事な静と動の変換となります。そして再び堀の情景に戻って終わります。いつもの玉井さんらしくナレーションがあった方が良いのでは、とのご意見もありましたが、見事な作品に仕上がっていました。

2) ハロン湾

山本正夢さん 7分20秒

ベトナム中部の湾内を小島に向かって進

む船中から船上生活者を紹介し、島の海産物中心の市場での情景など、何時もながらの山本さんの観光映像では見れない細やかな現地の人達の紹介がなされています。洞窟の中の色とりどりの照明は初めて見る者にとっては中国やベトナムではそうなっているのだなあ、と納得出来ました。

3) 漁港の朝 (W)

有村 博さん 5分33秒

昨年6月の余部鉄橋撮影会の2日目の早朝に香住の漁港で撮影した映像で、魚類のセリ市を中心にまとめたものです。出来るだけ無駄を省いて編集したつもりでしたが、如何でしたでしょうか。

4) 夕暮の大阪城 (W)

渡辺雄史さん 4分10秒

ハイビジョンカメラHC3で撮影されたそうですが、今回はワイドで作られたそうで、内容は日頃ガイドボランティアをされている所で、夕方から夜にかけての人っこ一人いない大阪城を取材されました。ライトアップされた天守閣や櫓などが美しく表現されていました。次回はいよいよハイビジョン第1作だと思います。期待しましょう。

5) 大阪空港 クリスマスの頃 (HDV)

奥 宏さん 4分00秒

昨年末に大阪伊丹の空港で撮影された作品です。リムジンバスが空港に到着する所から始まってロビーに入りますと、クリスマスらしい雰囲気飾り付けが見受けられます。帰省ラッシュには若干早かったようで、そんなに混雑もしていなかったようです。屋上の展望所からは発着する航空機が見えます。楽しい作品でした。

6) 神応寺紅葉まつり (HDV)

前田茂夫さん 8分07秒

京都府八幡市の男山の山麓にあるお寺で12月の初めに行なわれたお祭を取材されました。境内は遅がけの紅葉と寒牡丹が一緒に咲いていました。竹細工や手作りの小物を売る店が点在し、紅葉の美しいケーブルカーからは境内で演奏された中学生たちのブラスバンドが紹介されます。演奏部分が少し長いのでは、というご意見がありました。

7) 惑星旅行 (HDV)

安居利次さん 5分20秒

自作自演の空想科学映画をハイビジョンで作られました。トイザラスで模型を買ってきて糸で釣って撮影されたそうで、宇宙飛行士はご自分、安立(アンリュウ)コントロールセンターの安立はご自宅のある町名、ヒューストンからの中継の英語の音声などは友人の紹介で、さる外国人の人にしゃべってもらったそうです。何とも若々しく何事にも興味を持って邁進される安居さん、これでは認知症の方が近寄っては来ないですよ。

8) 催太鼓 (HDV)

増池 茂さん 6分50秒

増池さん、とうとうやりましたね。ハイビジョン作品の第1号です。それもリニア編集からのいきなりの快挙です。おめでとうございます。あの混雑する夏の天神祭で場所どりが良いので迫力満点。誰かが云ってました。「今までの増池さんの作品でないみたい」って。記念すべき作品になったのではないのでしょうか。

9) 阿波おどり (HDV)

江村一郎さん 4分55秒

四国山脈の山の中、吉野川に沿った徳島県三好市池田町で舞台で踊る姿を取材されました。江村さん独特のアップで繋ぐ映像ですが、舞台を普通に撮ったのでは面白くない、と云うので後でディゾルブや残像系のエフェクトをかける為に、露出を微調整して撮影されたそうです。結果としては私達が今までにあまりお目にかかった事のないような映像作品に仕上がっていました。新しい事に挑戦する作者に拍手を送りたいと思います。

10) 有馬瑞宝寺の紅葉 (HDV)

井上勝彦さん 10分00秒

最初の部分で奥さんのナレーションによりこのお寺の故事来歴が語られます。そして自作のスタビライザーを駆使されての美しい紅葉が荘厳な音楽をバックに映し出されます。移動撮影はどうしてもロング映像ばかりになるので、途中で紅葉のアップなどを短いカットで入れるともっと良くなるのでは、といったご意見がありました。

上映後皆さんの要望で、この移動撮影機を見せて頂き、早速自分も作ってみたい、と張り切る人、私にも作ってほしいと頼む人、皆さん興味しんしんの様子でした。

11) 小さな秋 (HDV)

河合源七郎さん 9分30秒

早くからソニーのFX1で撮影され、ワイドで作品を発表されてきた河合さんのハイビジョン作品の第1号です。パソコンがマックでソフトも違うので相当ご苦労された様ですが、お見事でした。被写体は秋の風物を逆光ぎみに美しく撮っておられて素晴らしい画面が連続します。しかしカットの長さがほぼ同じで全体としても短くした方がより良くなるのでは、と云ったご意見がありました。早く編集に慣れられてより好い作品を又、見せてください。

12) 下津井 (HDV)

西村光雄さん 6分40秒

岡山県倉敷市下津井に他クラブの1泊撮影会に同行して撮影されました。親切なナレーションで判りやすくしっとりとした作品に仕上がっていました。DVの普通テープをハイビジョン用に使うのトラブルの有無だとか、デジタルズームの許容範囲のテストなどを行なったそうです。

13) わが町の灯 (HDV)

西井 学さん 5分54秒

西井さんがお住まいの滋賀県守山市では冬、クリスマスの頃になると神戸のルミナリエの向こうを張って150軒程の家々が電飾で飾って華やかな雰囲気醸し出しているそうです。その情景を克明に記録されました。クリスマスソングが流れて楽しい雰囲気の作品でした。これだけの電飾を各家庭が段取りするご苦労を描けたらもっと感銘の深い作品になるのでは、といったご意見がありました。

14) 帆船に思いを馳せて (HDV)

藤原純三さん 10分00秒

昨年、大阪府堺市の助松埠頭に寄港した海王丸を見に行かれた藤原さんは練習生が帆を張る間に昔の自分を思い出されて24才の頃からの作者の自叙伝が始まります。その映像は当時の写真であったり、8ミリフィルムのテレシネ、VHS→DV→HD

Vといった工夫が見てとれます。ヨットで太平洋横断の夢を抱いた青春時代が語られます。そして海王丸に帆が張られて希望に満ちた若者たちの門出にエールを送って終わります。ご自分の若い頃を赤裸々に描かれた感動的な立派な作品だと思いました。

15) 古都燈炎 (HDV)

黒田敏彦さん 14分17秒

先月発表された作品を、皆さん大方のご意見などを取り入れられてイベント部分を除かれ題名も変えられての再登場となりました。灯火ゆらめく元興寺、大文字送り火、燈花会、大仏殿万燈供養会、薪能、春日大社万灯籠、豪華な花火の後はいよいよクライマックスの東大寺二月堂でのお水取り籠松明行法、静と動の絡まった見事な作品でした。元々立派に仕上がった作品を再度手直しされてより良くなったように思いました。

16) 京炎そでふれ (HDV)

森田光春さん 10分00秒

昨年10月に京都の平安神宮の境内とその周辺で開催された「京都学生祭典・全国おどりコンテスト」が開催され、大学生たちが若さ溢れる色々な踊りを披露しました。今年で6回目になるそうでタイトルはこの祭典のテーマのようで、踊りの後の看板に表記してありました。事前調査された森田さんはこのイベントを克明に記録されて、また新しい躍動感溢れる楽しい映像を私達に提供して頂きました。

17) 高津の宮 (HDV)

進藤信男さん 12分22秒

「全国宝くじ」の元祖が大阪の神社にあった。初めて知りました。大阪市天王寺区の上町台地の一角にある高津神社だそうで、新藤さんはこの神社を克明に取材され作品にしておられます。1月8日のとんど祭では境内に沢山の屋台が出て大勢の参拝客を相手に落語家の司会する高津の富くじ大会なども開かれています。ご熱心な調査をされて詳しく説明された努力作だと思います。でも、落語の事、文楽の事など少し情報量が多すぎて一度見ただけでは、この時間内で総てを理解するのは難しいのではないかと思います。